

坂井市

洪水・土砂ハザードマップ (春江地区)

計画規模降雨と想定最大規模降雨について

2種類のハザードマップを活用して、日ごろから安全な避難方法を検討しておきましょう。

1 まずは…

「計画規模降雨版」を参考に、避難施設と避難方法を検討しておきましょう。

計画規模降雨とは…

水防法に定められている、「堤防や護岸などを設計する際の基準となる降雨」の時に想定される浸水深が示されています。

2 次に…

さらに強い雨が降り続くなど最悪の状況に備えるため、「想定最大規模降雨版」を参考により安全な避難施設と避難方法を検討しておきましょう。

*災害時の冷静な判断は大変困難です。日ごろから避難行動を検討しておきましょう

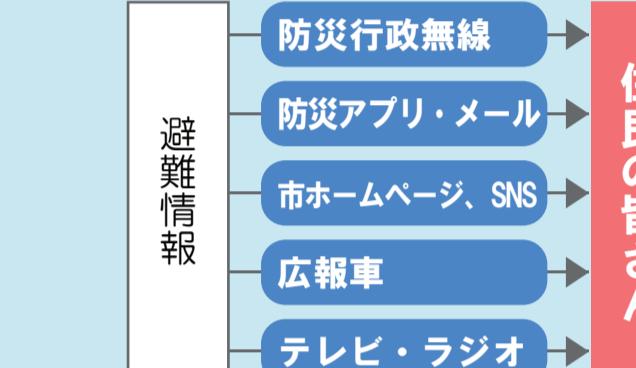
想定最大規模降雨を示す理由

地盤温湿化による気候変動の影響は、これまでの常識が通用しない規模の豪雨となって私たちの生活に襲い掛かってきます。このような災害から身を守るため、想定最大規模の降雨の場合、近くの避難所が使用できなくなったり、自宅の2階を超えて浸水することも想定されます。

災害情報の伝わり方・伝え方

情報の伝達手段

市では防災行政無線をはじめ、広報車などを出して、災害情報を伝えます



災害時伝言ダイヤル(171)の利用

災害時伝言ダイヤルとは、安否確認を録音・確認することができる「声の伝言板」です。※災害時のみ利用できるサービスですが、毎月1日や15日など、体験利用できる日があります。



※録音時間は30秒以内に限られています。伝えたい情報を整理してから録音して下さい

※家族内で、日ごろから録音する電話番号を決めておきましょう

避難場所の種類について

避難とは「難」を避けることです

ハザードマップで安全と判断される場所にいる人も、避難経路などを確認しておきましょう

① 避難場所 緊急時において安全を確保するための場所

凡例	名 称	役 割	施設の例
■	指定緊急避難場所	災害ごとに安全性等を考慮して指定する、災対法施行令で定める基準に適合する安全を確保するための場所	小・中学校等
■	避難場所	上記のほか、災害時の避難をより適切、有効なものにするため選定した場所	公園・グラウンド等
■	一時避難場所	区や自主防災組織が自主的に指定し、災害時等に一時的に避難する場所(※図には記載されておりません。区長等にご確認ください)	集会所等

② 避難所 被災者が生活を送るための施設

凡例	名 称	役 割	施設の例
■	指定避難所	市が規模及び設備等を考慮して指定する、災対法施行令で定める基準に適合する被災者が生活を送るための公共施設	小・中学校等
■	自主避難所	避難勧告等の発令までは市に不在で、市民の安全を確保するため、市が事前にコミュニティセンターなどに開設する避難所	コミュニティセンター等
■	避難所	上記のほか、災害時の避難をより適切、有効なものにするため選定した施設	文化・体育施設等
■	福祉避難所	一般的な避難所では生活することが困難な障がい者等の要配慮者に、特に配慮された施設	保健センター等

避難時の心得について

近所への声掛けと徒歩避難

発災時の車での避難は、渋滞の発生、川への転落、浸水したアンダーパスでの立ち往生など様々な危険性があります。このため、避難の際は徒歩が基本となります。避難の際には動きやすい服装で、また、2人以上での避難を心がけましょう。また、避難時においては、隣近所にも声掛けを行うなど助け合いましょう。

安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人かいいる場合は、そのお宅に避難しましょう(日ごろから相談しておきましょう)。

避難時の持ち出し品

避難の際に、例えば以下の物資を事前に準備し、携帯しましょう。

消毒液	オーラルケア用品(うがい液等)	携帯電話	非常食
マスク	健康保証証	モバイルバッテリー	飲料水
体温計	ウエットティッシュ	懐中電灯	食器・サンランプ
お薬手帳	簡易トイレ	現金(小銭)	育児用品(ミルク等)
常備薬・応急医療品	衣類	預金通帳・印鑑	軍手

避難情報について

災害発生の危険がある場合は、下表に示す警戒レベルが出され、レベルによって避難の判断が変わります。

警戒レベル

状況

避難の判断

市からの避難情報

避難行動など

気象庁等からの避難情報
(警戒レベル相当情報)

1 今は気象状況悪化のおそれ

2 気象状況悪化

3 災害のおそれあり

4 災害のおそれ高い

5 災害の発生又は既知

危険の前ぶれ

自主避難

高齢者等避難

必ず避難

避難指示

洪水発生

緊急安全確保

命の危険 直ちに安全確保!

逃げ遅れたら

逃げ遅れ

避難完了

危険な場所から全員避難
指定避難所が開設されます

命の危険 直ちに安全確保!

逃げ遅れたら

逃げ遅れ

避難情報や持ち出し品などをチェックしましょう

避難情報を確認しましょう

避難時の持ち出し品を確認しましょう(詳しくは、「避難時の持ち出し品」をご確認ください)

近所への声掛けができるよう、日ごろから近所付き合いを密にしましょう

*1 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです

*2 避難指示は、現行の避難行動のタイミングで発令されます

※1 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです

※2 避難指示は、現行の避難行動のタイミングで発令されます